

平成 28 年度  
島田市総合計画の策定に向けた市民意識調査  
(住民アンケート)

【概要版】

平成 28 年  
島田市

## 【目 次】

0	本調査について . . . . .	1
1	あなた自身のことについて . . . . .	2
2	第1次総合計画（基本構想）の総括・検証について . . . . .	3
3	今後のまちづくりについて . . . . .	6
4	自由意見 . . . . .	11

## 0 本調査について

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の概要

本調査は、これからの島田市を支えてくださる皆様に、日ごろ感じておられることをお聞きし、平成30年度を初年度とする新しい総合計画づくりに役立てるために実施した。

対 象	島田市に居住する18歳以上の男女 (住民基本台帳無作為抽出：平成28年7月31日現在)
方 法	郵送による配付・回収
期 間	平成28年8月26日から9月16日まで
項 目	1 回答者の属性（あなたご自身について） 2 第1次総合計画（基本構想）の総括・検証について 3 今後のまちづくりについて 4 自由意見

#### (2) 配布数及び回収結果

配布数	3,000
有効回収数	1,015
有効回収率	33.8%

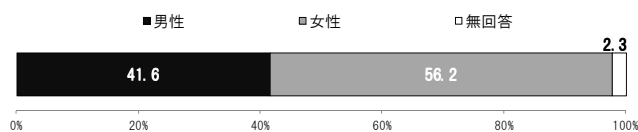
### 2 結果数値の扱いについて

- ・グラフ表記の比率はすべて%で表示していますが、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示しているため、合計が100.0%にならない場合がある。
- ・各グラフ及び集計表の比率は、母数に対する割合を示している。
- ・母数となるべき実数は回答者数「N」として示し、複数回答が可能な設問についても、比率算出の母数は回答者数とし、それぞれの選択肢の比率を算出している。

# 1 あなた自身のことについて

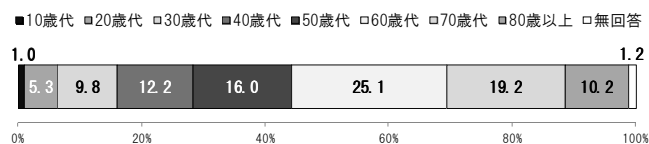
## 問1 性別【単数回答】【N=1,015】

「男性」(41.6%)、「女性」(56.2%)。



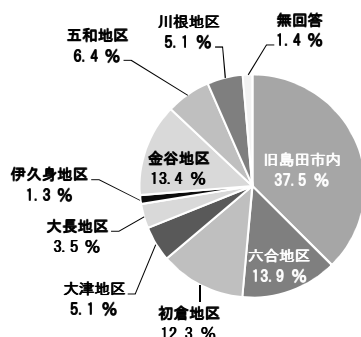
## 問2 年齢【単数回答】【N=1,015】

「60歳代」(25.1%)が最も高く、次いで「70歳代」(19.2%)。



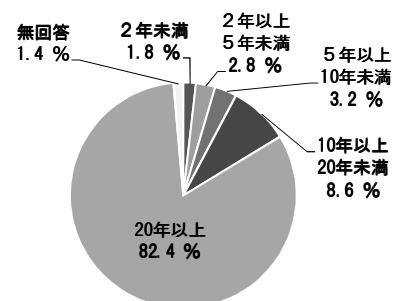
## 問3 居住地区【単数回答】【N=1,015】

「旧島田市内」(37.5%)が最も高く、次いで「六合地区」(13.9%)、「金谷地区」(13.4%)。



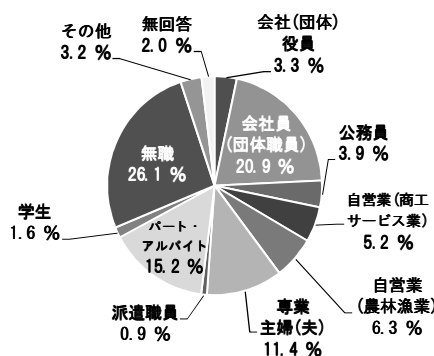
## 問4 居住年数【単数回答】【N=1,015】

「20年以上」(82.4%)が最も高く、次いで「10年以上20年未満」(8.6%)。



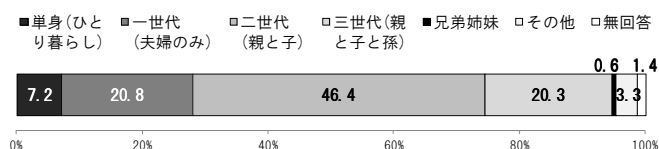
## 問5 職業【単数回答】【N=1,015】

「無職」(26.1%)が最も高く、次いで、「会社員(団体職員)」(20.9%)、「パート・アルバイト」(15.2%)。



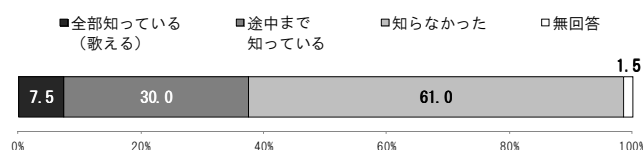
## 問6 家族構成【単数回答】【N=1,015】

「二世世代(親と子)」(46.4%)が最も高く、次いで「一世代(夫婦のみ)」(20.8%)、「三世代(親と子と孫)」(20.3%)。



## 問7 島田市歌(市歌1番から3番まで)の認知度【単数回答】【N=1,015】

「知らなかった」(61.0%)が最も高く、次いで「途中まで知っている」(30.0%)、「全部知っている(歌える)」(7.5%)。

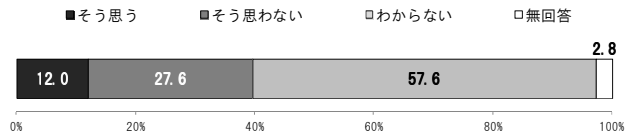


## 2 第1次総合計画（基本構想）の総括・検証について

### 問8 市の将来像【単数回答】【N=1,015】

現在の島田市が第1次計画で掲げる将来像のような都市になっていると思うかについて、「わからない」(57.6%)が最も高く、次いで、「そう思わない」(27.6%)、「そう思う」(12.0%)。

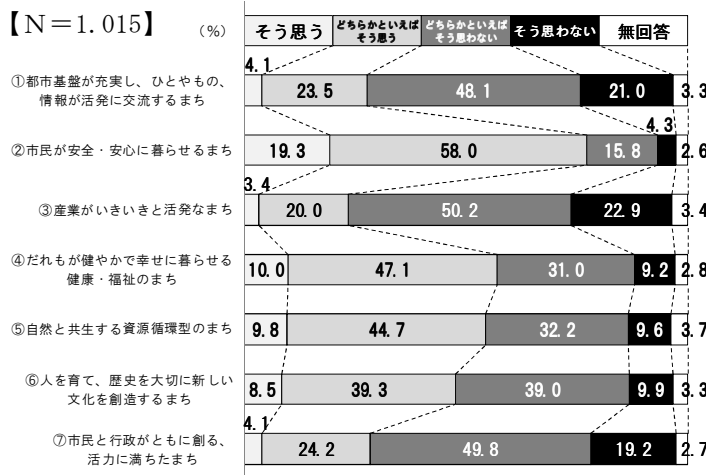
居住地区別でみると、いずれの地区も「わからない」が最も多いなか、川根地区は「そう思う」(23.1%)と、市全体を約11ポイント上回る。



(居住地区)	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
総数	12.0%	27.6%	57.6%	2.8%	100.0%
旧島田市内	10.8%	31.8%	55.4%	2.1%	100.0%
六合地区	10.6%	27.0%	59.6%	2.8%	100.0%
初倉地区	10.4%	28.0%	57.6%	4.0%	100.0%
大津地区	7.7%	46.2%	46.2%	0.0%	100.0%
大長地区	13.9%	30.6%	50.0%	5.6%	100.0%
伊久身地区	7.7%	23.1%	69.2%	0.0%	100.0%
金谷地区	16.9%	22.8%	59.6%	0.7%	100.0%
五和地区	10.8%	16.9%	72.3%	0.0%	100.0%
川根地区	23.1%	9.6%	67.3%	0.0%	100.0%
無回答	7.1%	7.1%	28.6%	57.1%	100.0%

### 問9 分野ごとの目標像【単数回答】【N=1,015】

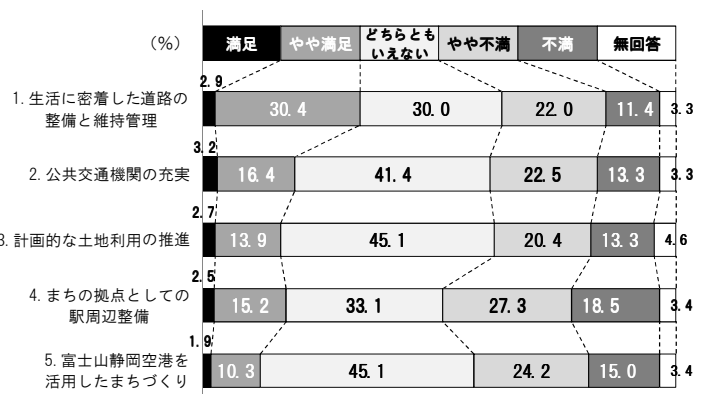
分野ごとの目標像が実現出来ているかについて、最も高い評価を得ている分野は「②市民が安全・安心に暮らせるまち」で、「そう思う」と「どちらかといえば思う」の合計が77.3%となっている。



### 問10 取組に対する満足度【単数回答】【N=1,015】

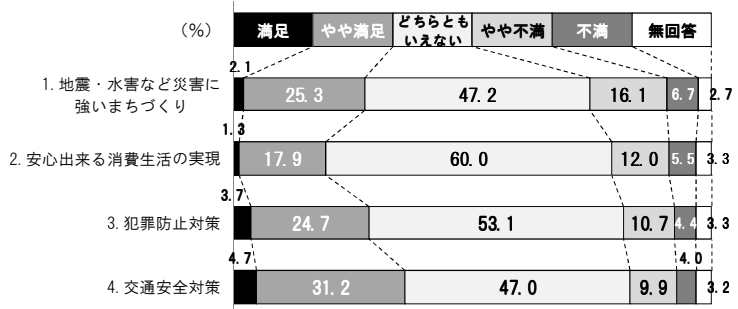
#### ①都市基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち

最も満足度が高いものは「1. 生活に密着した道路の整備と維持管理」で、『満足』（「満足」と「やや満足」の合計の割合が33.3%）となっている。



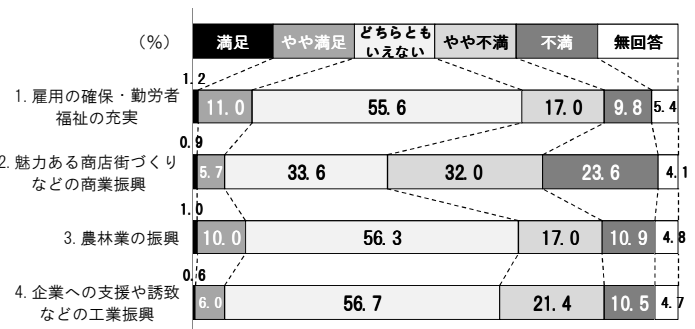
#### ②市民が安全・安心に暮らせるまち

最も満足度が高いものは「4. 交通安全対策」（『満足』35.9%、『不満』13.9%）で、全21項目中で最も高い満足度となっている。



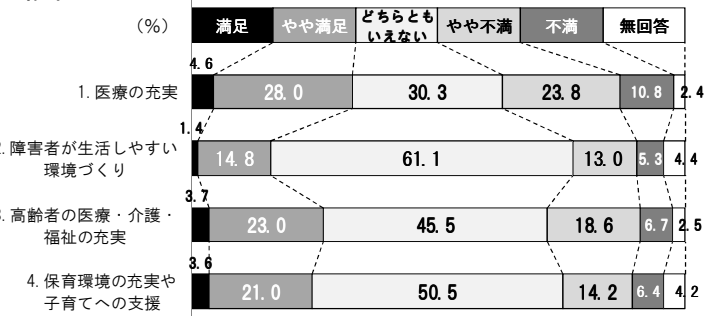
### ③産業がいきいきと活発なまち

「2. 魅力ある商店街づくりなどの商業振興」では、『満足』が 6.6% であるのに対し『不満』は 55.6% と、全 21 項目中で最も低い評価となっている



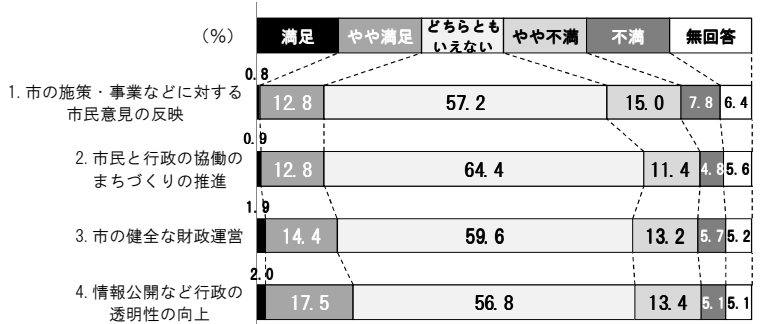
### ④だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

『満足』の割合が高いものから順に、「1. 医療の充実」、「3. 高齢者の医療・介護・福祉の充実」(『満足』26.7%、『不満』25.3%)、「4. 保育環境の充実や子育てへの支援」(『満足』24.6%、『不満』20.6%)となっている。



### ⑤市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち

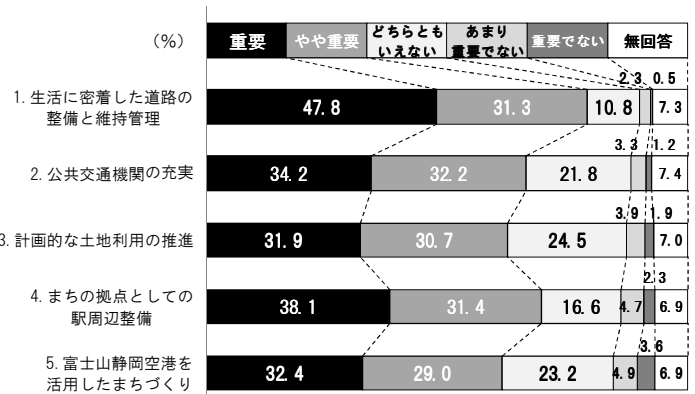
『満足』の割合が高いものから順に、「4. 情報公開など行政の透明性の向上」(『満足』19.5%、『不満』18.5%)、「3. 市の健全な財政運営」(『満足』16.3%、『不満』18.9%)、「2. 市民と行政の協働のまちづくりの推進」(『満足』13.7%、『不満』16.2%)となっている。



## 問 10 取組に対する重要度【単数回答】【N=1,015】

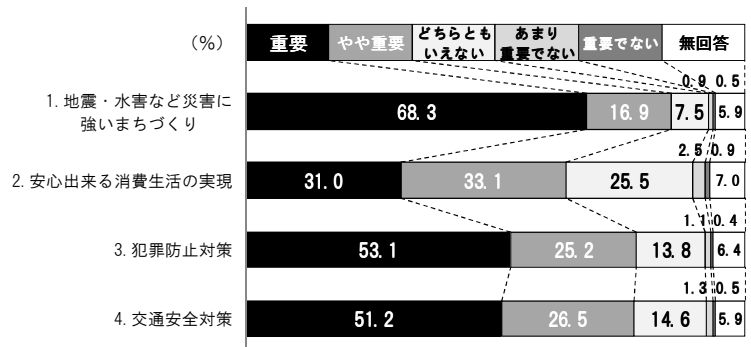
### ①都市基盤が充実し、ひとやもの、

情報が活発に交流するまち  
最も重要度が高いものは「1. 生活に密着した道路の整備と維持管理」で、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要である』の割合が 79.1% を占めている。



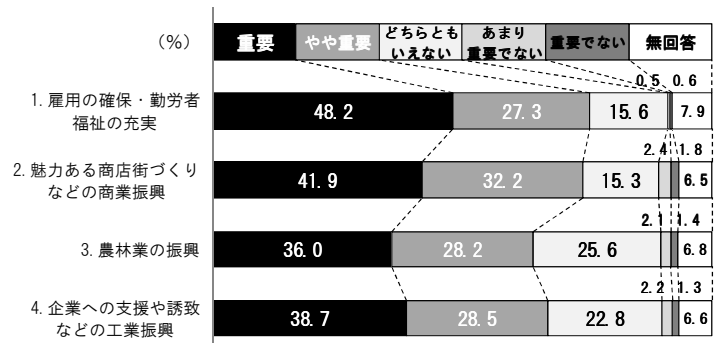
## ②市民が安全・安心に暮らせるまち

最も重要度が高いものは「1. 地震・水害など災害に強いまちづくり」で、『重要である』の割合が85.2%あり、そのうち「重要」の割合は全 21 項目中で2番目に高い68.3%となっている。



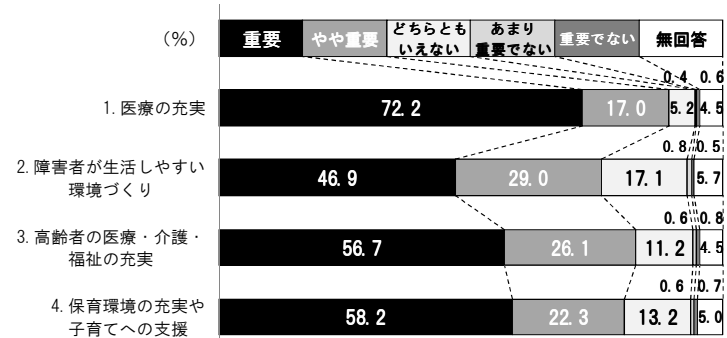
## ③産業がいきいきと活発なまち

最も重要度が高いものは「1. 雇用の確保・勤労者福祉の充実」で、『重要である』の割合が75.5%を占めている。



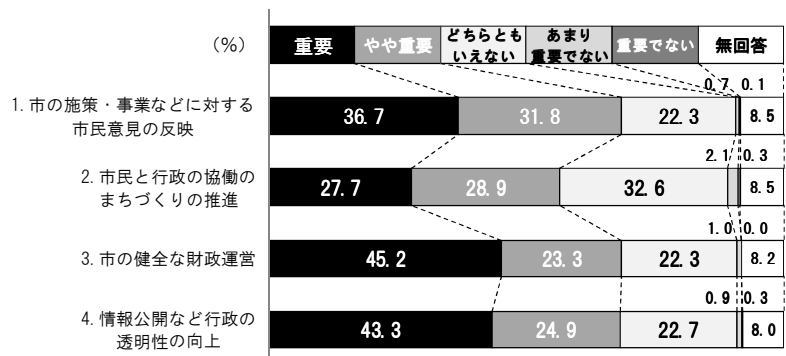
## ④だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

最も重要度が高いものは「1. 医療の充実」で、『重要である』の割合が89.2%を占めており、そのうち「重要」の割合は全 21 項目中で最も高い72.2%となっている。



## ⑤市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち

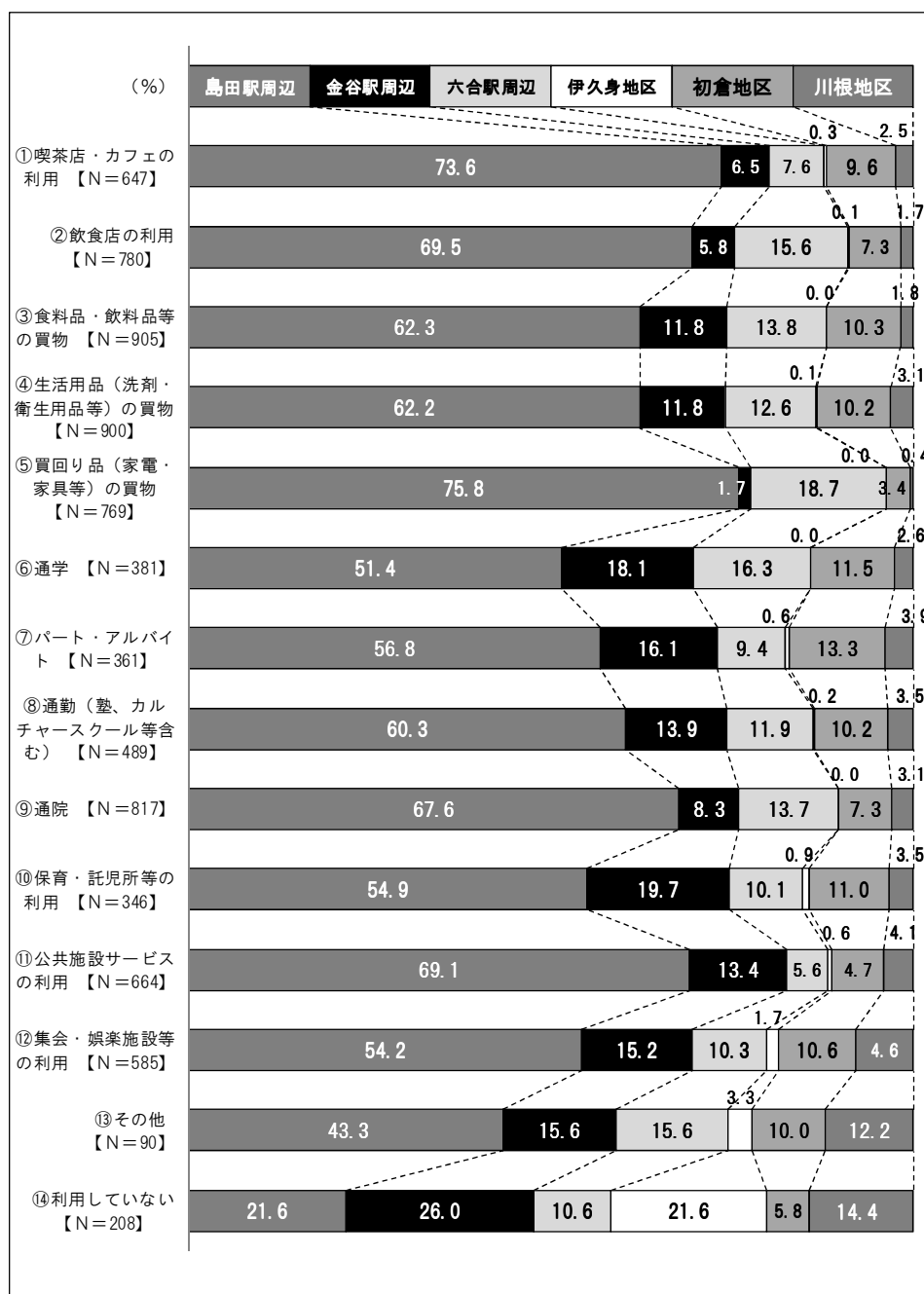
最も重要度が高いものは「3. 市の健全な財政運営」(『重要である』68.5%、うち「重要」45.2%)となっている。



### 3 今後のまちづくりについて

#### 問 11 利用拠点【単数回答】（「無回答」を除いた利用拠点の分布）

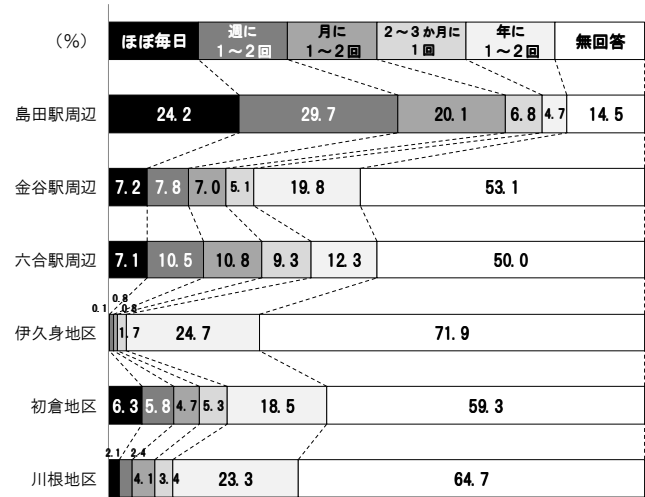
島田市において、日常生活や学習、経済活動等の中心的な役割を担っていると考えられる場所（拠点）を選定し、その利用度等をうかがったところ、いずれも「島田駅周辺」の利用が過半数を占め、特に「買回り品（家電・家具等）の買物」（「無回答」を除く75.8%）や「喫茶店・カフェの利用」（同73.6%）、「飲食店の利用」（同69.5%）、「公共施設サービスの利用」（同69.1%）、「通院」（同67.6%）などで『島田駅周辺』の利用割合が高くなっている。





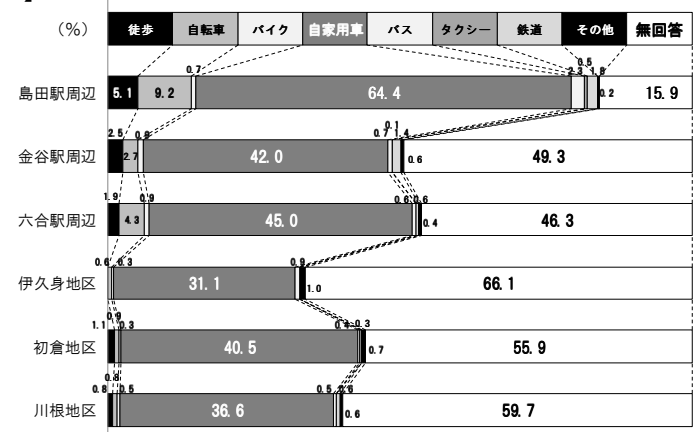
問 12 利用頻度【単数回答】【N=1,015】

頻度に関する「無回答」を除いた回答では『島田駅周辺』(85.5%)の割合が圧倒的に高く、次いで、『六合駅周辺』(50.0%)、『金谷駅周辺』(46.9%)、『初倉地区』(40.7%)、『川根地区』(35.3%)、『伊久身地区』(28.1%)となっている。



問 13 主な交通手段【単数回答】【N=1,015】

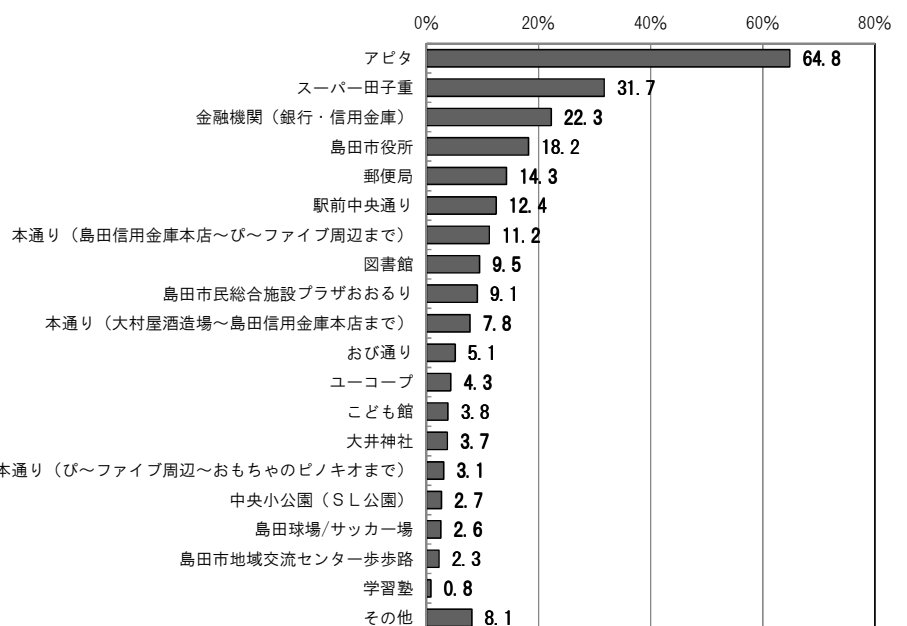
「自家用車」の割合が圧倒的に高く、すべての地域で交通手段を答えた人の7割以上が「自家用車」と回答しています。特に『伊久身地区』(「無回答」を除く91.9%)や『初倉地区』(同91.7%)、『川根地区』(同90.7%)では9割以上が主に自家用車を利用している。



島田駅周辺（中心市街地）について

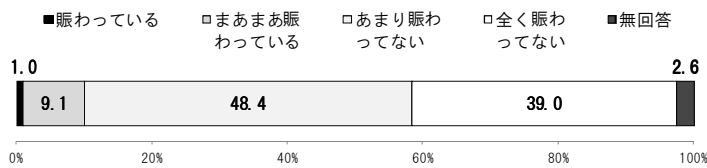
問 14-1 中心市街地（行き先）【複数回答】【N=1,015】

島田駅周辺（中心市街地）で行くことが多い場所としては、「アピタ」(64.8%)や「スーパー田子重」(31.7%)など、日常的な買い物のできる場所が特に高く、次いで、「金融機関（銀行・信用金庫）」(22.3%)や「島田市役所」(18.2%)、「郵便局」(14.3%)などの公共サービス機関が上位を占めている。



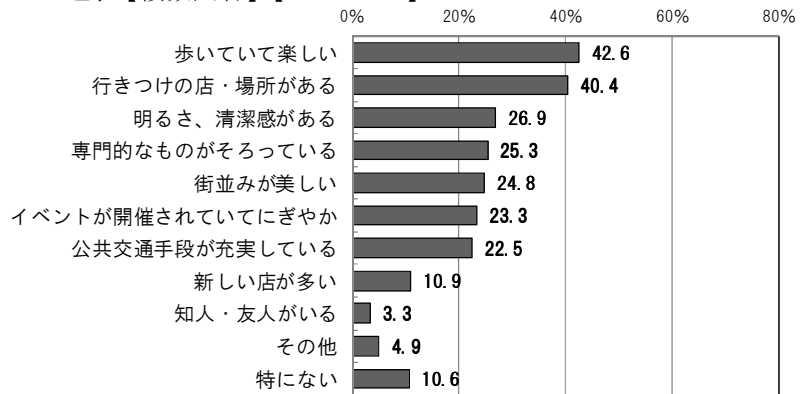
問 14-2 中心市街地（賑わい）【単数回答】【N=1,015】

『賑わっている』（「賑わっている」と「まあまあ賑わっている」の合計 10.1%）に対し、残りの 9 割近くが『賑わっていない』（「あまり賑わっていない」と「全く賑わっていない」の合計 87.4%）と回答している。



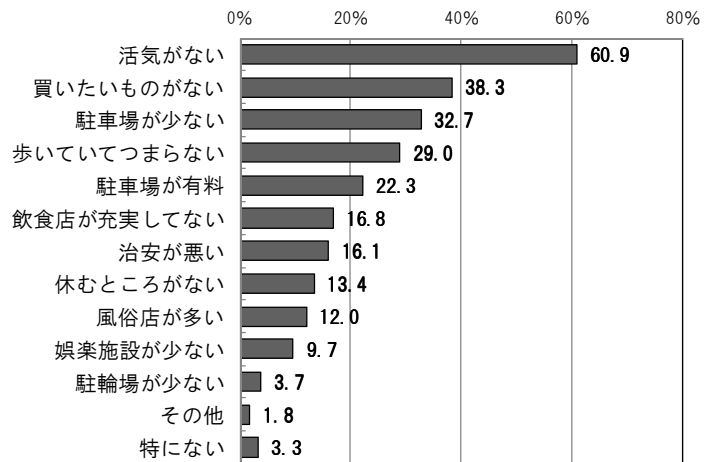
問 14-3 中心市街地（望ましいこと）【複数回答】【N=1,015】

「歩いていて楽しい」（42.6%）や「行きつけの店・場所がある」（40.4%）などが高くなっている。



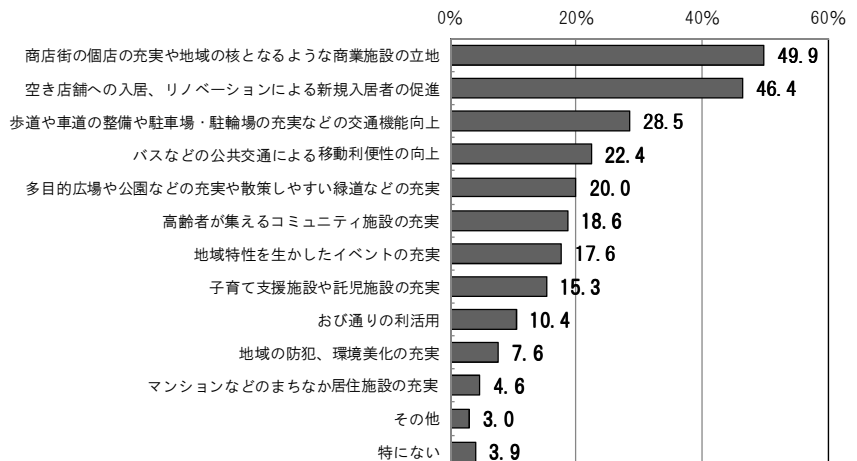
問 14-4 中心市街地（望ましくないこと）【複数回答】【N=1,015】

「活気がない」（60.9%）が特に高く、次いで「買いたいものがない」（38.3%）、「駐車場が少ない」（32.7%）、「歩いていてつまらない」（29.0%）、「駐車場が有料」（22.3%）、「飲食店が充実していない」（16.8%）、「治安が悪い」（16.1%）、「休むところがない」（13.4%）、「風俗店が多い」（12.0%）、「娯楽施設が少ない」（9.7%）、「駐輪場が少ない」（3.7%）、「その他」（1.8%）などとなっている。



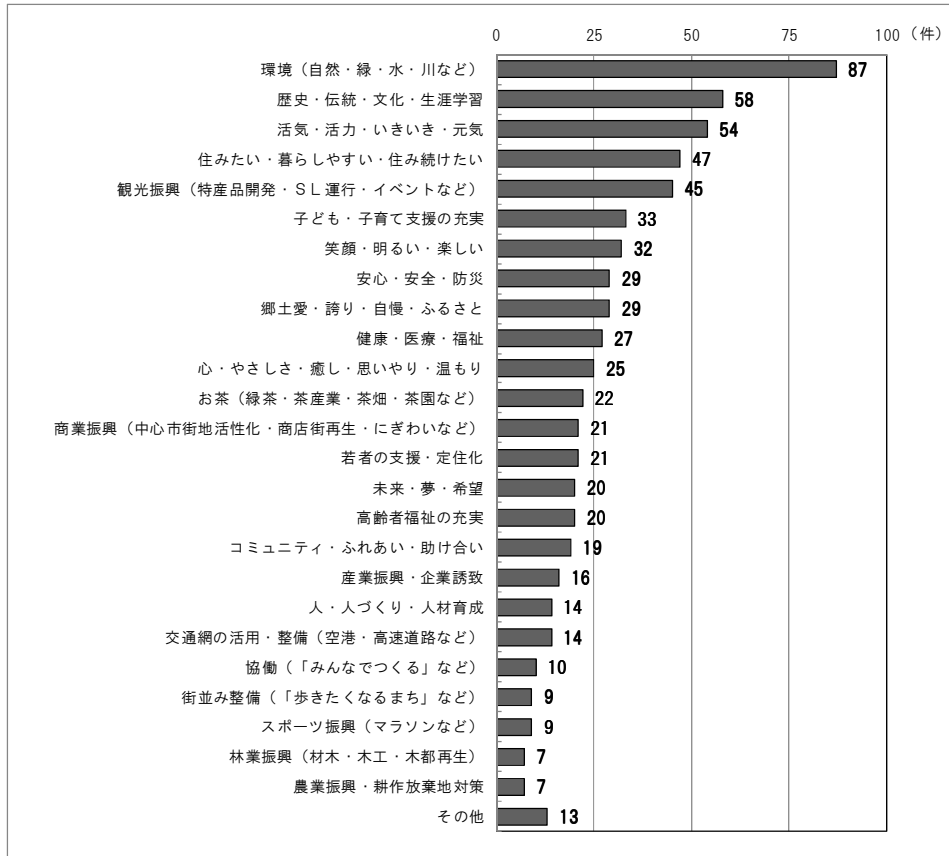
問 14-5 中心市街地（魅力を高めるために必要なこと）【複数回答】【N=1,015】

「商店街の個店の充実や地域の核となるような商業施設の立地」（49.9%）や「空き店舗への入居、リノベーションによる新規入居者の促進」（46.4%）など、買い物拠点の充実に関する項目が特に高くなっている。



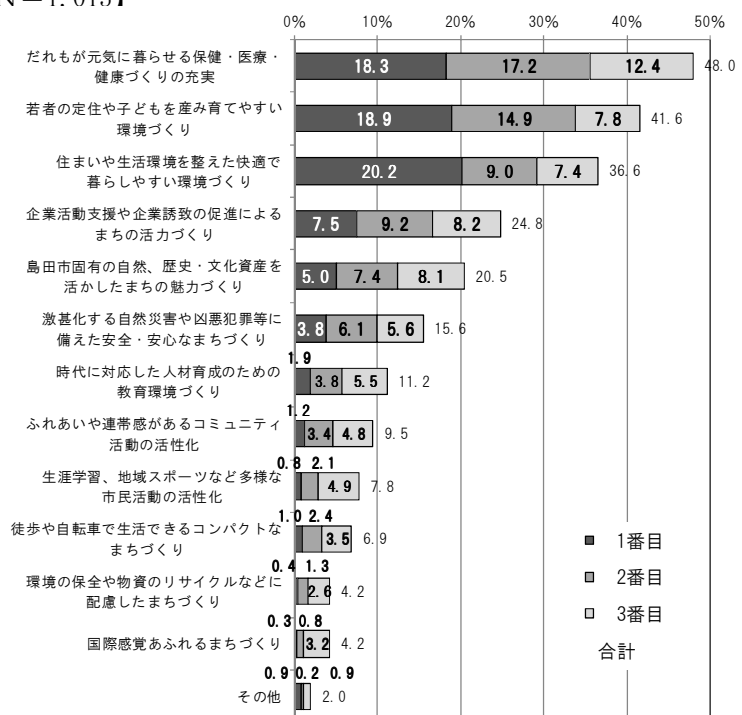
### 問 15 将来像【自由記入】【N=1,015】

将来像について寄せられた自由記入（計 345 件）をもとに主なキーワードを分類したところ、最も多く挙げられているのは「**環境（自然・緑・水・川など）**」（87 件）に関するものとなっている。



### 問 16 マニフェスト【複数回答】【N=1,015】

問 15 に記した島田市の将来イメージやキャッチフレーズにふさわしいまちづくりを進めていくために、どのようなマニフェストを掲げたいと思うか伺ったところ、1 番目から 3 番目までの合計の割合では「**だれもが元気に暮らせる保健・医療・健康づくりの充実**」（48.0%）が最も高くなっている。



問 17 総合計画において進めていくべき取組【単数回答】【N=1,015】

「⑥-1 子どもを安心して産み育てられる子育て支援体制の充実」への期待度が最も高く、『期待する』（「大いに期待する」と「まあ期待する」の合計、以下同じ）は69.0%に達しています。

取組	（%）					
	大いに期待する	まあ期待する	わからない	あまり期待しない	期待しない	無回答
⑥-1 子どもを安心して産み育てられる子育て支援体制の充実	38.2	30.7	17.0	2.8	1.7	9.6
④ S L や温泉、ニューツーリズムや歴史・文化資源を活用した観光の推進	27.4	39.7	15.5	7.1	2.0	8.4
① 若者に対する島田市市内での定住に関する対策	38.2	26.1	17.7	7.4	2.4	8.2
⑤ 茶のまちとしての島田市ならではの商品の開発やブランド化の推進	26.2	34.3	19.4	8.7	3.4	8.0
⑦ 商業・サービス産業の活性化	26.4	30.3	21.9	9.9	2.1	9.5
② 空港やインターの立地をふまえた、市外部との交流を促進する拠点形成の充実	25.6	30.7	21.5	9.7	3.3	9.2
⑥-2 大規模店の出店や工場の誘致	27.4	25.3	21.8	12.5	4.8	8.2
⑨ 安心して暮らし続けられる明るい地域社会（コミュニティ）の形成に向けた、多世代交流・共生の取組	19.9	31.9	30.0	7.5	1.8	8.9
③ 市内の鉄道駅周辺や中山間地域との交流を促す日常生活拠点形成の充実	15.1	30.6	31.2	9.1	2.8	11.2
⑫ 市民利用施設の使用料等における受益と負担の適正化	16.1	27.9	37.1	7.0	2.3	9.7
⑪ 行政運営の見直しによる事業の縮小や廃止（スリム化）	17.9	25.9	36.3	7.3	2.4	10.2
⑩ 公共施設マネジメントの着実な実施	15.8	27.9	37.3	6.8	2.3	10.0
⑬ 拡大する生活圏、経済圏の中、適切な行政サービスの提供を目指した関係自治体との広域行政の推進	16.1	24.0	41.9	6.3	2.0	9.8
⑧ 市民協働まちづくりをさらに促すための対策	13.4	26.3	40.7	7.1	1.8	10.7

## 4

## 自由意見

自由意見に記載された内容について、第一次計画の施策分類に応じて集計すると下表のとおりとなる。「その他」を除くと、「商業・サービス産業の振興」、「観光の振興」「開かれた行政と行財政の効率化」の順に多くなっている。

